



DXPの「勝手にDX」提案《概要版》

シップヘルスケア: 医療インフラのオーケストレーターへ

シップヘルスケアホールディングスのトータルパックプロデュース事業における、デジタル時代の戦略的変革提案

株式会社DXパートナーズ

2026年2月3日

第1章

ルールチェンジの必然性

真のDXとは

既存の競争ルール内で戦い方を変える「ゲームチェンジ」ではなく、デジタルを前提に新しいルールを発明する「ルールチェンジ」への挑戦です。

変革の核心

「アナログな製品を売る企業」から「データとソフトウェアを核とし、アナログなソリューションも提供するプラットフォーム企業」への転換が求められています。

シップヘルスケアの現状

6,780... 248... 7,800...

売上高

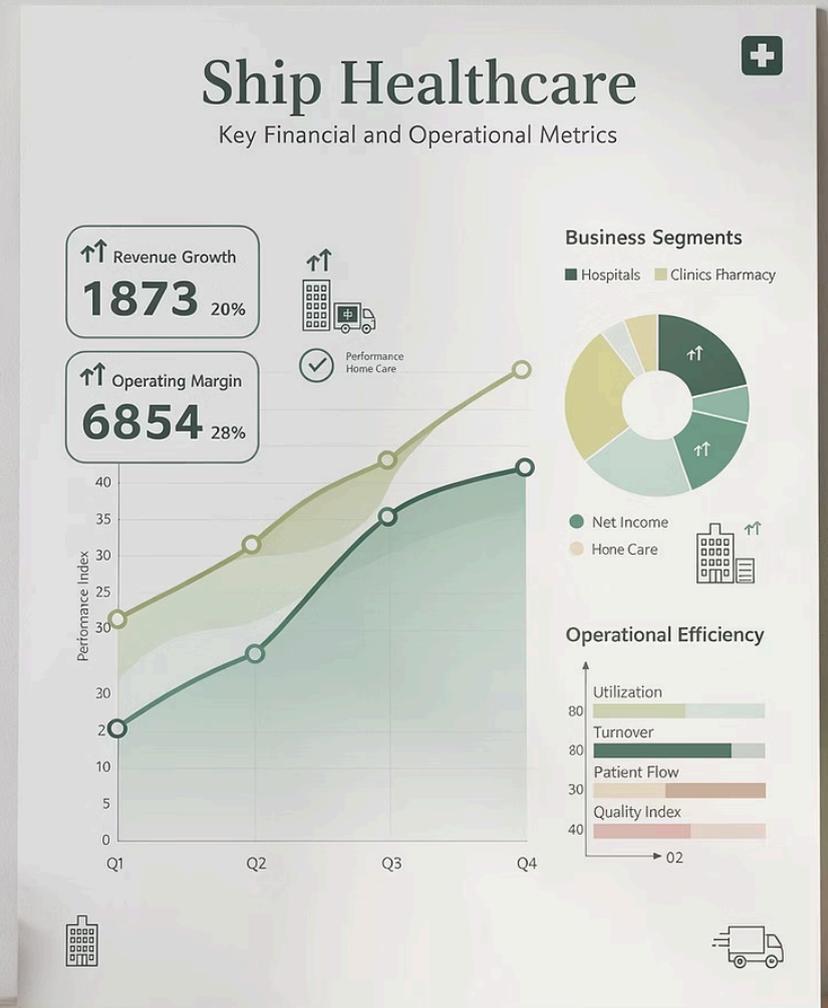
2025年3月期実績

営業利益

安定した成長を継続

従業員数

グループ全体の人材力



事業構造

4つの事業セグメント



TPP事業 20%

営業利益の49%を創出する高収益事業。コンサルティングから機器調達、施工まで一括プロデュース。



MSP事業 70%

診療材料・医療消耗品の販売とSPD(院内物流管理)を提供。



LC事業 5%

介護付有料老人ホームの運営と食事提供サービス。



PH事業 5%

地域密着型の門前薬局を運営。

TPP事業の強みと課題



MF技術の優位性

高度な医療機器を建物や設備と最適に適合させる調整能力。レントゲンフィルム取り扱いから培われた独自のノウハウです。

現状の限界

しかし、専門技術者による「人的な調整」とプロジェクトごとの「フロー型受注」に依存した、典型的なアナログ時代のモデルです。

⚠ 危機シナリオ

変革しない場合の3つの脅威

調達ルール破壊

Amazon Businessによる購買プロセスの透明化。AIによる最適価格提示で、医療機器一括販売の-marginが圧縮されます。

コンサルの自動化

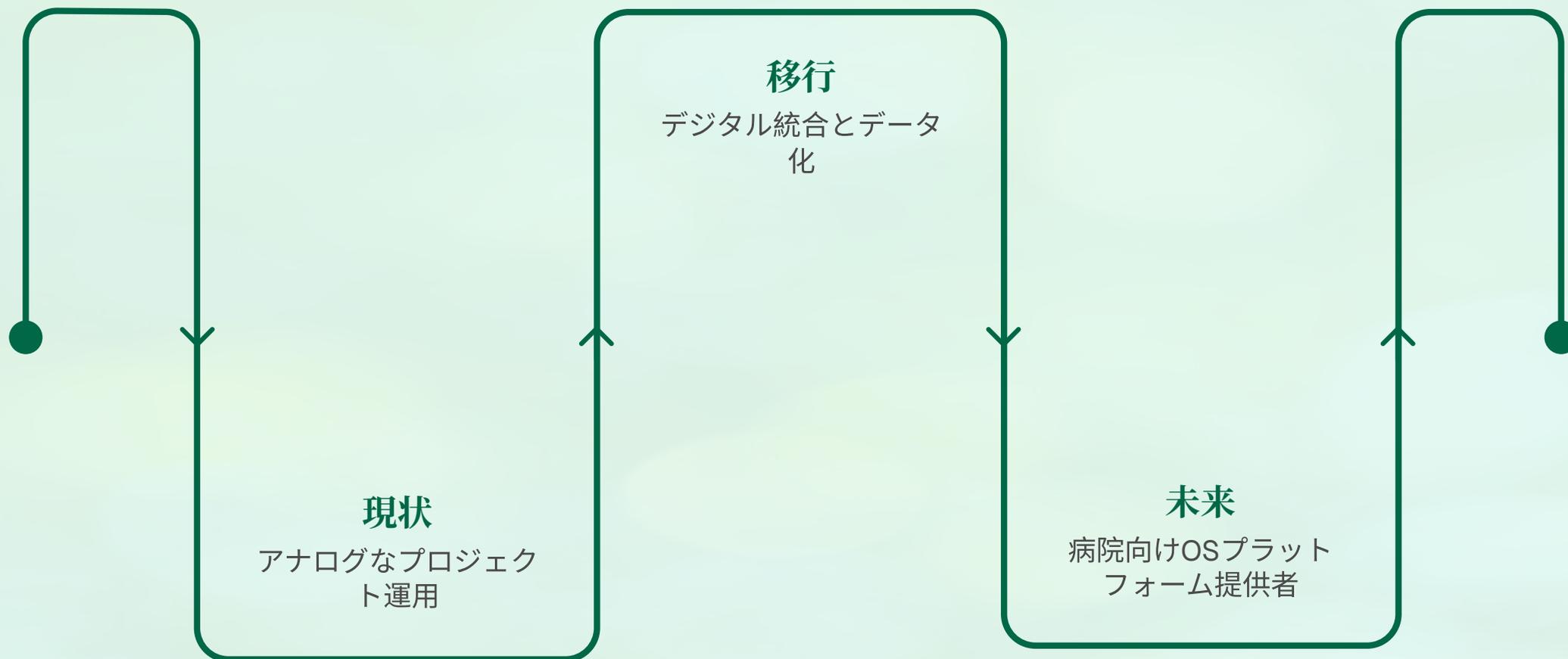
生成AIが基本計画策定や運営支援を数分で完了。人間の「経験と勘」がデータ駆動の最適解に置き換えられます。

技術障壁の崩壊

BIM/デジタルツイン技術の普及により、MF技術が他社でも再現可能な「オープンな技術」へ変貌します。

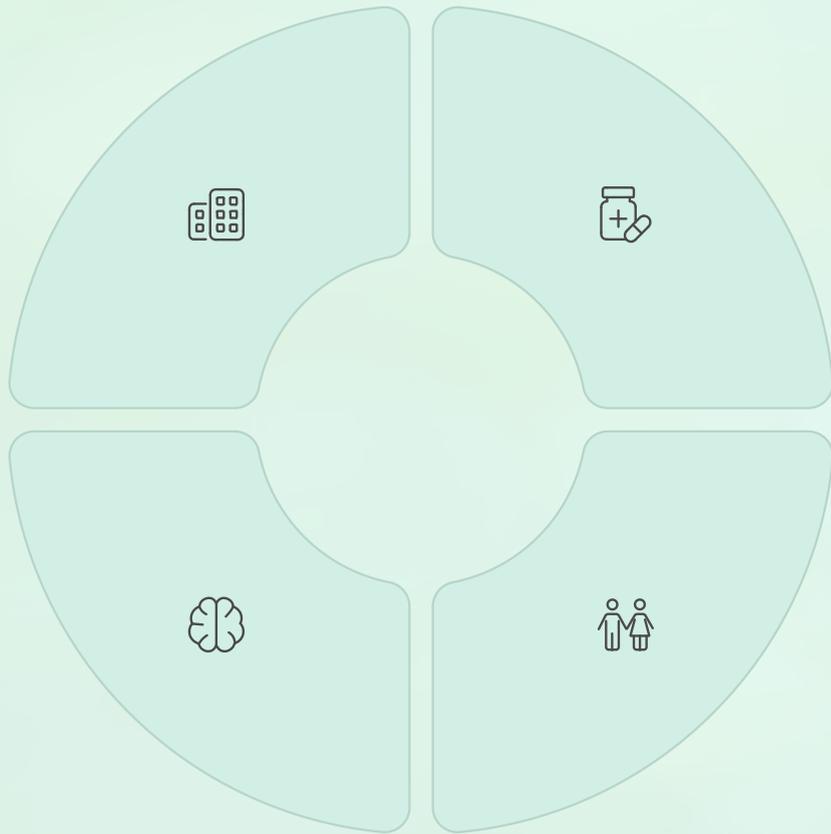
SHIP Medical-Infrastructure OS

病院を「建てて終わり」の静的な資産ではなく、稼働データに基づいて「常に進化し続ける動的な生命体」として再定義します。



シップヘルスケアは、病院という物理空間を制御し最適化し続ける「OS(基盤ソフトウェア)」の提供者へと転換します。

デジタル・ホスピタル・エコシステム



予測可能なレジリエンス

パンデミック、機器故障、スタッフ不足などの変化に対し、デジタルツイン上でのシミュレーションを通じて即座に適応・進化できる力を提供します。

Hospital-as-a-Service

定額サブスクリプションと成功報酬による、持続的な価値提供モデルです。



BIMデータ

建物の3D情報



IoTデータ

機器の稼働状況



動線データ

スタッフ・患者の流れ



AI最適化

リアルタイム制御



競争優位性

なぜシップヘルスケアが勝てるのか



MF-OSへの昇華

暗黙知をソフトウェアのアルゴリズムへ変換。世界中どこでも「シップクオリティ」の病院を即座に生成できます。



ツインターボエンジン

高速実験エンジンとネットワーク効果エンジンによる、ノンリニアな価値増幅を実現します。



無選択型意思決定

AIが「信頼できる執事」として機能。極めて高いスイッチングコストを構築します。

経営層へのメッセージ

「ゲームチェンジャーではなく、ルールチェンジャーになれ」

01

現在の成功を認識する

TPP事業は洗練された「自然吸気エンジン」。安定しており、美しい。

03

新しい定義へ転換する

「医療機関を支援する商社」から「最も医療現場を理解し最適化し続けるソフトウェア企業」へ。

02

迫る脅威を直視する

アマゾンという「デジタル破壊者」と生成AIという「知能の波」が迫っています。

04

未来を自ら創る

日本の医療が持続可能な未来を創るための「ルール」を、今、創り出してください。